

市民ヒアリング進捗状況の報告

令和2年11月

越谷サンシティ整備懇談会事務局

これまでのヒアリング先

対象	団体名
まちづくり関係	越谷サンシティ未来会議 <u>越谷市住まい・まちづくり協議会</u> <u>越谷青年会議所</u>
子育て関係	NPO法人 子育て支援ワーカーズコレクティブみるく NPO法人 ファミリーリンク越谷 NPO法人 子育てサポーターチャオ 子育て世帯
地元事業者/ 商店会	<u>南越谷商店会</u>

※ 下線が本日も紹介団体

今後のヒアリング先候補

対象
地元事業者/商店会
スポーツ関係

①サンシティに対する意見

(サンシティまでのアクセス)

- 南越谷・新越谷駅からサンシティへのアクセスに課題がある。東武線の新越谷駅はサンシティに近いが、サンシティ側へ抜ける導線が良くない。
- サンシティにアクセスするためには駅から一度外に出なければならないが、地下道など濡れないで移動できるような地下通路があると良いのではないか。アーケードを設置してサンシティまで行けるような遊歩道でも良い。
- お年寄りが道路の真ん中を歩くなど危険であるため、人と車の動線をきちんと整理した方が良い。歩行者天国を設けるなどの検討も行うべき。

(ホール)

- ホールの規模感がちょうど良く、公演に来る歌手もちょうど良い。施設にも馴染みがあるため取り壊すのは寂しい。
- ホールに著名人が来なくとも、会社のイベントで利用したり、阿波踊りができたりするだけで十分。大きくすれば人が集まる訳ではない。

(施設の設計)

- 施設内の階段の高低差が大きく、中庭の階段で怪我をすることもあり、ユニバーサルなデザインが必要。
- 建築のアプローチが駅方面の北側をメインとしており、南側や東側からのアプローチが意識されていない。蒲生地区からサンシティを見ると壁を作って疎外されていると感じるため、北側と南側のギャップを埋めるべきではないか。

②建て替え後のサンシティに求める機能

(魅力の発信)

- 分譲住宅の仕事に携わっているが、南越谷エリアの魅力や発信力が低いため、集客が鈍くなっている。イベントがあるから人が集まるのではなく、日頃から行きやすい場所があることが必要。南池袋や渋谷の宮下パークでは、緑があって散歩しやすいエリアであるため、若者が引き寄せられている。緑が基調となるような場所になれば良い。
- 南越谷には誇れるものがないため、10年～30年先を見据えて、シンボリックなものが必要。
- 文化的なにぎわいを創出することを目的として建築物をつくり、建築に人が集まり、そこから派生して文化的なにぎわいが生み出されるべき。人が集まれば自然と周りに高級なレストランやお店ができてくる。

(市民への場の提供)

- 豊かな生活は余暇をどう楽しむかが重要で、文化、芸術、スポーツを楽しむ場が必要。
- テラスのような機能を作って欲しい。中庭にテーブルがあるだけで食事をとって楽しむことができる。コロナ禍の影響で外で食事をするニーズが出てきており、緑のある場所で食事を取りたい。
- 郷土館のような常設的なコーナーがあると良いのではないかと。市民が発表できるような場も常設されると良い。
- 何も建てずに食フェスをやるような広場があれば人が集まるのではないかと。食は周りの飲食店が提供してくれる。場があれば人が集まるので、中途半端にあれこれやるよりも市民のためにスペースを解放した方が良い。
- サンシティに行けば美味しいものが食べられる、面白いイベントが開催されているなど、越谷であればここしかないという仕掛けを作って欲しい。

(検討の進め方)

- 第5次総合振興計画との整合性が見られないので、同計画でまちづくりの全体の方向性を定めてから整備を進めるべきではないか。
- PFIありきではなく市民団体の巻き込みや市民ファンドを募るなどの取り組みを考えるべきではないか。

①建て替え後のサンシティに求める機能

(MICE機能)

- 駅前にMICE機能が欲しい。会議を行うには越谷市中央市民会館を利用するしかない。
- 南越谷はセンシュアスと表現されるように昼のイメージがないため人が集まらない。MICE機能があれば昼もにぎわうようになるのではないか。
- 駅周辺にカフェが少ないが、昼間もWi-Fiが使えるなどビジネスマンが利用できる大人のまちになると良い。

(飲み屋街・商店会との連携)

- 渋谷のミヤシタパークはガーデン系の施設として非常に面白い。ミヤシタパークには渋谷横丁が隣接しているが、南越谷でもやる気のある商店会を巻き込んで商店会通りとしての連携を高めていきたい。
- レイクタウンには飲む場所がない。子供は레이크タウン、大人は南越谷のような役割分担が必要。南越谷横丁はいいアイデア。레이크タウンと似たようなことをやっても意味がない。
- さいたま新都心も飲み屋街がないので都内に人が流出している。南越谷ではMICEも踏まえた品のいい飲み屋街があると良い。

(シンボリックな施設)

- 水郷の街、ベットタウンとしての越谷など、デザインではなく意味合い的にシンボリックな場所になる必要があるのではないか。徳島県鳴門市の大塚国際美術館は近くに海もあり非常にシンボリックである。
- 街のシンボルとなるような建物、市民の誇りとなるような施設が望ましい。

(駐車場・サンシティまでの動線)

- 駅前であっても駐車場は必要。レイクタウンがにぎわっているのは平日5時間まで無料、休日完全無料で運営しているから。
- 動線がいいなと思うのはさいたま市のソニックシティに繋がる歩行者デッキ。2階の回廊で会議や仕事場までそのまま行けて駅から離れていても使いやすい。

(その他)

- 越谷に住んでいると東京や横浜まで車で遊びに行くことがあるが、埼玉県内の西側に在住している人たちは東京まではなかなか出て行かない。越谷までなら来てくれる可能性があるので、越谷の立地条件を活かして県内の人たちをターゲットにすると良いのではないか。市民の憩いの場を設けるのはマスト。
- 企業に投資をして貰ってしっかりと収益が生まれる仕組みが必要。将来財政的に子供に負担をかけないとなると、公園にしてしまうなどの話に戻ってしまう。
- 私たち小規模事業者でも参画できるような施設が欲しい。

①南越谷に対する意見

- 南越谷駅と新越谷駅の1日の乗降者数はそれぞれ約15万人であるものの、商店会の方まで流れてくる人が少なく、買い物はVARIEで済ませてしまっている。Go To キャンペーンなどを活用するなど、何か魅力的なものを打ち出していかなければならない。
- 市役所の建て替えが行われるなど、越ヶ谷は行政の中心となっているが、南越谷は文化の中心であるべき。越ヶ谷とは違うまちの特色を出していきたい。
- 南越谷OPA(オーパ)が撤退してから南越谷にお客さんが来なくなった。リーマンショック、東日本大震災、そして今回の新型コロナよりも、南越谷OPAの撤退の方が客足に対する影響は大きい。若い人が少なくなったことで文化的なにぎわいが衰退した。

(南越谷商店会について)

- 南越谷は交通の要衝であり立地条件が良いため、テナントとして入るには家賃が高く、大企業の支店が多いのが特徴。南越谷商店会は個人商店が少なくなっているが、個人商店がスペース的に入りやすく、色々なアイデアを活かせるような仕組みがあると良い。
- 一本裏道に入れば大手以外のお店はたくさんあるなど、必ずしも大企業しか入り込めないというエリアではない。

②建て替え後のサンシティに求める機能

(ホール)

- 越谷サンシティに対しては、レイクタウンのような商業的な施設は求めている。一方で、文化施設であるホール機能は必ず必要。

(スポーツ施設)

- 越谷アルファーズがプレーできるような施設があると良い。さいたまスーパーアリーナまでいかなくとも、多目的に使える施設があれば人が集まる。
- 越谷アルファーズの本拠地を置くとすると、どのくらいの施設が必要か、対戦相手が泊まる宿泊施設があるのかなどの論点を整理する必要がある。
- 市民としてバスケットを練習するには、吉川市の総合体育館など遠いところに行かなければならない。都内の利用者を取り込むためにもスポーツ施設があると良いのではないかと。

(ランドマーク的な施設)

- 南越谷の利点はアクセスの良さであるため、東京や県北方面からの集客を呼び込むことを考える必要がある。都内からの集客を考えるのであれば、例えば柔道であればここでやるなどのエッジを立て、地の利を活かした機能を目指すのが良い。
- 年齢層で意見は異なるかもしれないが、行ってみたいと思えるようなランドマーク的な建物が欲しい。まずは人を呼び込むことが重要。
- パリのエッフェル塔とシャンゼリゼ通りのように、ランドマーク的なエッフェル塔があることで、シャンゼリゼ通りが賑わうというような関係を築くべき。
- 市民だけではなく、他県や海外からの人を集められるような施設がないと地域が潤わない。利用客が市民だけだと車で来て帰るだけになるが、外部の人であれば電車を使ってリピーターとして来てくれる。具体論となると難しいが、そのような流れを生み出す施設を作りたい。